

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2005-302388 (P2005-302388A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-042
 【出願番号】特願 2004-113476 (P2004-113476)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)
C 2 3 C 14/04 (2006.01)
G 0 9 F 9/30 (2006.01)
H 0 1 L 27/32 (2006.01)
H 0 5 B 33/12 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 A
 C 2 3 C 14/04 A
 G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z
 H 0 5 B 33/12 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 4 月 4 日 (2007.4.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 方向及び該第 1 方向に交差する第 2 方向に沿って二次元的に配置された複数の画素からなる表示画面を備えた有機 E L 表示装置において、

前記複数の画素の N 個 (N は 3 以上の整数) を前記第 1 方向沿いに並べて形成される画素列について、該画素列の 1 番目及び N 番目の画素に夫々設けられた発光領域の前記第 1 方向に沿う幅が、M 番目 (M は整数で、 $1 < M < N$ を満たす) の画素に設けられた発光領域の前記第 1 方向に沿う幅より狭いことを特徴とする自発光表示装置。

【請求項 2】

前記整数 M は、前記整数 N の $1/2$ 又はこれを切り上げた値であることを特徴とする請求項 1 に記載の自発光表示装置。

【請求項 3】

前記複数の画素の n 個を前記第 2 方向沿いに並べて形成された画素行を有し、該画素行の 1 番目及び n 番目の画素の発光領域の前記第 2 方向に沿う幅は m 番目 (m は整数で、 $1 < m < n$) の画素の幅より狭いことを特徴とする請求項 1 に記載の自発光表示装置。

【請求項 4】

前記画素は、薄膜トランジスタと、該薄膜トランジスタに接続された画素電極と、前記電極を露出する開口を備えた絶縁膜と、前記画素電極の上に形成された発光層と、前記発光層の上に形成された共通電極とを備え、

前記発光領域は、前記絶縁膜の開口領域であることを特徴とする請求項 1 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 5】

第 1 方向及び該第 1 方向に交差する第 2 方向に沿って二次元的に配置された複数の画素

からなる表示画面を備えた有機 E L 表示装置において、

前記表示画面の中央部の画素面積と前記周辺部の画素面積が異なることを特徴とする有機 E L 表示装置。

【請求項 6】

前記表示画面の中央部の画素面積は前記周辺部へ向かって小さくなっていることを特徴とする請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 7】

前記表示画面の中央部の画素幅は前記中央部から遠ざかるに従って漸次狭くなっていることを特徴とする請求項 6 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 8】

第 1 方向及び該第 1 方向に交差する第 2 方向に沿って二次元的に配置された複数の画素からなる表示画面を備えた有機 E L 表示装置において、

前記表示画面の中央部の画素ピッチと前記周辺部の画素ピッチが異なることを特徴とする有機 E L 表示装置。

【請求項 9】

前記表示画面の中央部の画素ピッチは前記周辺部へ向かって漸次変化していることを特徴とする請求項 7 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 10】

第 1 方向及び該第 1 方向に交差する第 2 方向に沿って二次元的に配置された複数の画素からなる表示画面を備えた有機 E L 表示装置において、

前記画素は、画素電極と、駆動用電源線と前記画素電極との間に接続される薄膜トランジスタと、前記画素電極を露出する開口を備えた絶縁膜と、前記画素電極の上に形成された発光層と、前記発光層の上に形成された共通電極とを備え、

前記駆動用電源線の幅は、表示画面の中央部と周辺部で異なることを特徴とする有機 E L 表示装置。